

平成 28 年度学長戦略経費（重点分野研究プロジェクト）進捗状況報告

（平成 29 年 3 月）

報告者氏名・所属	早勢裕明・釧路校	
研究プロジェクトの名称	アクティブ・ラーニングによる算数・数学の授業改善支援	
プロジェクト担当者 (氏名・所属・職) ※代表者に●を付すこと	瀧ヶ平悠史(札幌小・教諭), 千葉 史(札幌小・教諭), 長谷川英和(札幌中・教諭), 杉本泰範(札幌中・教諭), 佐々祐之(札幌校・教授), 後藤俊一(札幌校・准教授), 渡会陽平(札幌校・特任講師), 和田朋子(旭川小・教諭), 西條俊介(旭川小・教諭), 三村 仁(旭川小・教諭), 菅原 大(旭川中・教諭), 菅沼純治(旭川中・教諭), 相馬一彦(旭川校・教授), 久保良宏(旭川校・教授), 野田哲史(釧路小・主幹教諭), 高瀬航平(釧路小・教諭), 赤本純基(釧路中・教諭), 野口朝央(釧路中・教諭), 杉山佳彦(釧路校・教授), 関谷祐里(釧路校・教授), ●早勢裕明(釧路校・教授), 和地輝仁(釧路校・准教授), 黒川友紀(釧路校・講師), 大滝孝治(釧路校・特任講師), 冬野恒史(函館小・教諭), 神野藤均(函館小・教諭), 木村奈々(函館中・教諭), 有金大介(函館中・教諭), 石井 洋(函館校・講師)	
研究プロジェクトの概要等		
中央教育審議会答申, 学習指導要領・学習指導要領解説の告示の3年間に合わせ, 次期学習指導要領で重視されるアクティブ・ラーニングによる子どもの深い学びを実現する算数・数学の授業改善の方策について, 附属小・中学校と大学の算数・数学担当教員が授業観察と研究協議を通して考察し, ガイドブックを作成, 全道すべての小・中学校に配付する。		
進捗度	2	←番号を記入 1.順調に進んでいる 2.ほぼ順調に進んでいる 3.やや遅れ気味 4.遅れ気味
(進捗度が3若しくは4の場合、問題点等の理由を記入願います。)		
<p>今年度は, 平成29年2月17日(金)に, 札幌校を会場に研究会議を開催した。この時期の開催は, 中央教育審議会答申と新学習指導要領(案)の公表を待ったものである。</p> <p>新学習指導要領(案)の公表を踏まえて, 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)を実現する算数・数学の授業の在り方や, 現行学習指導要領とからの変更点にかかわり, 北海道内の小・中学校において課題となるであろう事柄等について協議した。</p> <p>① アクティブ・ラーニングを意識して実践してきた, 各附属学校における算数・数学の授業に関する成果と課題についての意見交換</p> <p>② 算数・数学科における「主体的・対話的で深い学び」のとらえ方についての検討</p> <p>③ 新学習指導要領(案)に関する意見交換</p> <p>④ 新領域「Dデータの活用」(確率・統計領域)の重視に関する対応策について</p> <p>⑤ 最終年度の研究成果の発信の方法</p>		
今後の研究プロジェクトの推進計画		

新学習指導要領で新設された「Dデータの活用」領域について、小・中学校連携の視点を加味し、実際の授業参観や大学教員の情報提供を通して、望ましい指導の在り方を研究し、指導資料を作成・発行する。

- ① 平成29年度に、釧路小・中学校と函館小・中学校の授業参観と研究協議(2回)
- ② 平成30年度に、旭川小・中学校と札幌小・中学校の授業参観と研究協議(2回)

教育現場や地域で活用可能な成果等

平成30年度末に発行する指導資料は、新設される「Dデータの活用」領域の指導に関する道内小・中学校の困り感に対応するものであり、移行措置期間の発信となることから、全面実施に向けて大きな援助となる。

研究成果の公表実績

【著書】 (著者、書名、出版社、発行年・・・等)

なし

【学術論文】 (投稿中も含む)

(著者、表題、雑誌名、巻・号、発行年、頁・・・等)

なし

【学会発表、シンポジウム、セミナー、演奏会、展覧会、競技会、普及啓発イベント等】

(名称、開催年月日、開催場所、参加者数・・・等)

なし

【テキスト、報告書、研修資料等】

(名称、発行年月日、発行部数、配付場所、配布者数・・・等)

なし

添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度 第1回数学教育プロジェクト研究会議 ① 開催要項 ② 資料
ダウンロード可能なドキュメント	<ul style="list-style-type: none"> ○算数・数学授業づくり (平成24年3月) ○算数・数学授業づくりハンドブック (平成28年3月)
関連URL	
問い合わせ先	<p>氏 名：早勢 裕明 電 話：0154-44-3337 E-mail：hayase.hiroaki@k.hokkyodai.ac.jp</p>